



宮城県名取市長  
佐々木 一十郎

新年明けましておめでとうございます。  
寅年会の皆さまには、お健やかに新しい年をお迎えのことと、謹んでお慶びを申し上げます。  
名取市は、市を縦断するように国道や高速道路、鉄道が走り、国際空港である仙台空港の所在都市として交通の便に大変恵まれています。一方で、肥沃な土地が広がり気候が温暖であるため、古くから農耕が盛んに行われており、太平洋沿岸には、美しい砂浜と松林が続ぎ、海の恵みを楽しみながら発展を遂げてきました。  
昨年の東日本を襲った未曾有の大震災により、人口

7万3千人のわが名取市の海岸一帯も壊滅的な打撃を受けました。早いもので、あの日よりまもなく1年が経とうとしておりますが、900名を超える命が津波によって奪われ、未だ約

## 「心からの笑顔求めて、新たな未来へ」を掲げて

完了し、再建への一歩を踏み出しました。被災前の町内会単位を基本として各仮設住宅に入居していただいたことから、コミュニティは維持されてきました。自治会も速やかに設立されました。しかし、アパ

トや貸家に入居した被災者への支援が十分行き届いていないと言えず、ニーズに応じたきめ細かな支援を実施することが今後の課題です。  
昨年10月には、計画的に復興を推進するための指針となる「名取市震災復興計画」を策定しましたので、今後7年間は「心からの笑顔求めて、新たな未来へ」という思いを掲げて復興に取り組んでいきます。震災前にあった当たり前の日常

を取り戻すとともに、もっと名取の魅力・元気を創造し、未来の子どもたちに自信を持って引き継いでいくまちを目指します。  
震災後、全国各地より駆けつけていただいた皆さまの温かいご支援や、お寄せいただいた支援物資・義援金等に、大変勇気づけられました。心より御礼申し上げます。今後とも温かく名取市を見守っていただきますよう、お願い申し上げます。また、被災地へお越しいただくことが復興への大きな力となりますので、皆さまのお越しをお待ち申し上げております。

自由民主党政権構想会議 座長  
衆議院議員

伊吹 文明



新年明けましておめでとうございます。寅年会の皆さまにとり、本年が良いお年であることをお祈りし、変わらぬご厚誼をお願い致します。  
昨年は、内外ともに多難年でした。国内では東日本大震災をはじめ、各地の台風による被害、海外ではEU各国の財政の混乱、米国経済の低迷、タイでの大洪水等々、我が国の経済も国民生活も大きな打撃を受けました。特に内外災害による生産活動の停滞、海外要因による異常な円高は企業活動を大きく圧迫しました。一日も早く昨年

の悪夢から抜け出し、笑顔を取り戻せる年にしたいと願っています。私も微力ながら政治の場で最善の努力を尽すつもりです。  
掲げ、国民の一時の歓心を買って多数を占めた民主党政権である事実は変わりません。そして普天間の問題も、年金や長寿者医療の問題も、税と社

民がなされるのは当然でしょう。  
このような政党に選挙で敗れ、政治の混乱を招いた責任は我が自民党にあります。我が党は新しい綱領の下、常に進歩を目指す保守政党として新しいスタートを切っています。一致団結して国民の期待に応えるべく、自民党は真摯に謙虚に努力してまいります。

民がなされるのは当然でしょう。  
このような政党に選挙で敗れ、政治の混乱を招いた責任は我が自民党にあります。我が党は新しい綱領の下、常に進歩を目指す保守政党として新しいスタートを切っています。一致団結して国民の期待に応えるべく、自民党は真摯に謙虚に努力してまいります。

## 小雀の 障子に映る 初陽かな

結びに、寅年会の今年のご発展と皆さまのご健勝をお祈りします。

# 海外進出

独自のコミュニティとノウハウで  
海外進出のサポートをいたします

## 株式会社エレメント

www.element6.jp

熟練した技術を海外で「先生」として活かしませんか

# 再就職支援

外国人技術者のご紹介や採用相談もしております ⇒ 03-3866-1887 / sales@element6.jp



村田 光平

地球システム・倫理学会理事  
(元駐スイス大使、東海学園大学名誉教授)

2010年の長期に及んだメキシコ湾原油流出事故を前にして、多くの人が、もし放射能がどのように流出を続けたらと戦慄を持って連想したことが思い出されます。この悪夢が福島原発事故で現実になってしまいました。

にも既に見られだしていた現在の力の「父性文明」を和の「母性文明」へ転換する母性文化の潮流は、大きく促進されていくものと思われま。

このたび日本を見舞った未曾有の大震災と福島原発事故は、自然に対する科学技術の限界を思い知らせるものでした。中東及びアフリカでの独裁の終焉の流れ

この潮流は、競争と対立を特徴とする父性文化が人類を究極の破局に導きつつある中で、オバマ大統領の登場を契機として誕生したものです。調和と連帯を特徴とする母性文化は日本の本来のものでしたが、明治維新「坂の上の雲」を目

指し取り入れた父性文化は敗戦という破局に日本を導いてしまったのです。日本はついに民事・軍事の双方で原子力の犠牲国となり、世界的規模の放射能汚染による加害国にもなっています。日本だけが原子力の恐ろしい全体像を知らされたのです。日本はこのような悲劇の再発を防ぐために、オバマ大統領の「核兵器のない世界」のヴィジョンを「核兵器も原子炉もない世界」のヴィジョンに高め、真の核廃絶を訴える歴史的責務を担うに至ったのです。しかし地球倫理の確立なしに核廃絶はあり得ません。また、母性文明の誕生なしには核廃絶はありえません。地球倫理、母性文明、核廃絶は三位一体の関係にあるのです。

和の母性文明への転換を訴えるこの講演は評価され、80カ国に支部を有し20万の会員を抱える同医師会議に支援されることになり、その協力を得て国連倫理サミットの開催と地球倫理国際日の創設を訴えております。ダイス国連総会議長(元スイス大統領)が2010

というオバマ大統領の目標の重要性を想起させるもの」として謝意を表明する書簡が私宛に寄せられました。倫理と連帯に基づき環境と未来の世代の利益を尊重する母性文明の創設は世界に現存するすべての紛争を解決するための鍵であり、「核兵器のない世界」のヴィ

文明間の対立を回避することが可能になることが確認できたということです。母性文化の有する普遍性がその背景にあります。深刻度の深まりが日に日に全世界で認識されている福島原発事故は、その収束に時間を要すれば要するだけ、世界中に原子力の「恐

文明間の対立を回避することが可能になることが確認できたということです。母性文化の有する普遍性がその背景にあります。深刻度の深まりが日に日に全世界で認識されている福島原発事故は、その収束に時間を要すれば要するだけ、世界中に原子力の「恐

文明間の対立を回避することが可能になることが確認できたということです。母性文化の有する普遍性がその背景にあります。深刻度の深まりが日に日に全世界で認識されている福島原発事故は、その収束に時間を要すれば要するだけ、世界中に原子力の「恐

文明間の対立を回避することが可能になることが確認できたということです。母性文化の有する普遍性がその背景にあります。深刻度の深まりが日に日に全世界で認識されている福島原発事故は、その収束に時間を要すれば要するだけ、世界中に原子力の「恐

文明間の対立を回避することが可能になることが確認できたということです。母性文化の有する普遍性がその背景にあります。深刻度の深まりが日に日に全世界で認識されている福島原発事故は、その収束に時間を要すれば要するだけ、世界中に原子力の「恐

## 東日本大震災に対して 諸外国からも多くの善意が 寄せられることに感謝

寅年会の皆さま、明けましておめでとうございます。昨年、東日本大震災により被災された皆様には、お見舞い申し上げます。また一昨年には、寅年会の創設者であり大阪経済倶楽部の会長でもあった濱田守久会長が亡くなりました。私は当初の昭和13年寅年会のメンバーであり濱田会長ともずいぶん長い付き合いをさせていただきました。振り返れば大阪当時の黎明期から東京に移るまで寅年

会を中心としてさまざまな方々と交流を持ってきました。当初の昭和13年寅年会のメンバーも多くの引退し、鬼籍に入った方も少なからずおられます。いよいよ現役が少なくなっているのはさびしい限りです。

今年度の東日本大震災を受けて私が相談役を勤めている日本マレーシア協会の相手国、マレーシアでは外国の災害に対して初めてナジブ首相の呼びかけによって下院において緊急動議が

なされ被災者への哀悼の意を表し、日本への支援を満場一致で採択してくださいました。4月中旬時点でマレーシア赤新月社(イスラム教国では赤十字の名称は使用しない)には400万リンギにのぼる寄付が集まり、またクアラルンプール郊外の孤児院の子供たちが募金活動を行い子供たちからも赤新月社に寄付をしてくださったそうです。孤児院の子供たちが街頭に立ち、募金活動を行っている姿を想像するだけでもどれほど心が温まるでしょう。また先日、ブータン国王が訪日され大変な話題になりました。被災地もお見舞いいただき多くの人々が

その立ち振る舞いやお言葉に感動いたしました。日本国内はもちろんです。諸外国からも多くの善意が寄せられることに感謝を表すとともに、もう少し復興のスピードは速まらないものであろうか、一番身近な日本人として何か打てる手は無いのだろうか、と関係者のご努力は承知しておりますが、歯がゆく思う今日この頃です。

翻って昨年1年の日本を表す言葉は「絆」だそうです。震災を通して家族、親戚、地域とさまざまなコミュニティが見直されつつあります。自然の前には人間が無力であるか、人間同士お互いの助けがど

れほど必要であるか思い知らされた年でもありました。私事になりますが、私は今まで全国でスポーツを通じて障害者と健常者が交流する場を提供するボランティア活動を永くしてまいりました。ある意味で永く「絆」を作る仕事をしてきた自負があります。そのような意味からもこの仕事の意義を再確認した次第であります。

寅年会もまた濱田守久会長

長との「絆」でありました。多くの仲間との「絆」が今後も発展することを祈念いたしております。

1年間、寅年会の会報も中断し心配いたしました。が、こうして無事にまた会報が発行されるようになったことは喜ばしいことです。今年がますます発展してゆく年であることを願うご挨拶に代えさせていただきます。

## 福島原発事故と日本の将来

2010年の長期に及んだメキシコ湾原油流出事故を前にして、多くの人が、もし放射能がどのように流出を続けたらと戦慄を持って連想したことが思い出されます。この悪夢が福島原発事故で現実になってしまいました。

にも既に見られだしていた現在の力の「父性文明」を和の「母性文明」へ転換する母性文化の潮流は、大きく促進されていくものと思われま。

この潮流は、競争と対立を特徴とする父性文化が人類を究極の破局に導きつつある中で、オバマ大統領の登場を契機として誕生したものです。調和と連帯を特徴とする母性文化は日本の本来のものでしたが、明治維新「坂の上の雲」を目

指し取り入れた父性文化は敗戦という破局に日本を導いてしまったのです。日本はついに民事・軍事の双方で原子力の犠牲国となり、世界的規模の放射能汚染による加害国にもなっています。日本だけが原子力の恐ろしい全体像を知らされたのです。日本はこのような悲劇の再発を防ぐために、オバマ大統領の「核兵器のない世界」のヴィジョンを「核兵器も原子炉もない世界」のヴィジョンに高め、真の核廃絶を訴える歴史的責務を担うに至ったのです。しかし地球倫理の確立なしに核廃絶はあり得ません。また、母性文明の誕生なしには核廃絶はありえません。地球倫理、母性文明、核廃絶は三位一体の関係にあるのです。

というオバマ大統領の目標の重要性を想起させるもの」として謝意を表明する書簡が私宛に寄せられました。倫理と連帯に基づき環境と未来の世代の利益を尊重する母性文明の創設は世界に現存するすべての紛争を解決するための鍵であり、「核兵器のない世界」のヴィ

文明間の対立を回避することが可能になることが確認できたということです。母性文化の有する普遍性がその背景にあります。深刻度の深まりが日に日に全世界で認識されている福島原発事故は、その収束に時間を要すれば要するだけ、世界中に原子力の「恐

文明間の対立を回避することが可能になることが確認できたということです。母性文化の有する普遍性がその背景にあります。深刻度の深まりが日に日に全世界で認識されている福島原発事故は、その収束に時間を要すれば要するだけ、世界中に原子力の「恐

文明間の対立を回避することが可能になることが確認できたということです。母性文化の有する普遍性がその背景にあります。深刻度の深まりが日に日に全世界で認識されている福島原発事故は、その収束に時間を要すれば要するだけ、世界中に原子力の「恐

文明間の対立を回避することが可能になることが確認できたということです。母性文化の有する普遍性がその背景にあります。深刻度の深まりが日に日に全世界で認識されている福島原発事故は、その収束に時間を要すれば要するだけ、世界中に原子力の「恐

文明間の対立を回避することが可能になることが確認できたということです。母性文化の有する普遍性がその背景にあります。深刻度の深まりが日に日に全世界で認識されている福島原発事故は、その収束に時間を要すれば要するだけ、世界中に原子力の「恐



瀬田 公和

国際障害者年記念ナイスハート基金理事長  
日本マレーシア協会相談役

LEDによる新しい照明システム

# FLS

フラットライティングシステム

あなただけのLED  
どんな照明をお望みですか？  
諦める前にご相談ください。  
あなたのわがままにチャレンジいたします。

Think globally . Act locally

# amcrew inc.

株式会社アムクルー

## www.amcrew.co.jp

本社・工場 / 〒420-0876 静岡県英区平和1丁目5-20  
TEL.054-653-5366 FAX.054-653-5388

## ロシア雑記

濱田守久さんの急逝を事務局の連絡で初めて知り、ショックです。私は寅年会の始めから親しくして頂き、時々講演で専門であるロシアのことを話しながら、ご冥福をお祈りしながら、その後の日口関係について一文を捧げます。

ロシアは 3・11 の震災の後、同情は寄せながらも、例の北方領土問題では、予想どおり何等の変化も見せることはなく、今は、今年の選挙でプーチンが大統領として復帰することに期待する向きもあるようです。私に言わせると、そんなことになる根拠は全くない。そんなこと言うのは、今のロシアに対する自分の無知をさらけ出していることと思います。当分国際情勢の変化を見るのが非常に重要です。たと

えば、中口関係が今後どうなるか、ロシアにとつて大きな問題です。たとえば極東には 20 年位前まで、ロシア人が 800 万人いると言われたのに、今は 600 万を切ると言われていて、極東の下の方の中国のたつた 3 つの省だけで中国人が 1 億 5000 万から 7000 万人いるのです。中国から見れば、シベリア、極東はがら空きで、もう 50 万人の中国人が入っていると言われ、とんでもない、150 万、200 万ともいわれ、最近のあるドイツ人専門家の本では 500 万

人という信じられない数字すらあるのです。ロシアは中国に長い間武器を売って来たが、ここ数年の状況を見ると、量が減っていますし、先端技術のものは売っていません。今後中口関係でいろいろなことが起こってくる、ロシアは、その時初めて、日本と仲良くすることの地政学的な意味が分かってくるでしょう。その他いろいろありますが、日本は今慌てずにじっくりと腰を落着け、可笑しな議論などせずに、じつと我慢しているべきだと思います。私は今全国を講演して歩き、今は我慢と忍耐の時代であると言っています。

## 仕事人生の最後をゆったり

1971 年に大阪から一宮市に来て、私の新しい生活が始まりました。染色整理会社の梱包、出荷の仕事に就けました。最初は、オイルショックの時に仕事がなくなり、その後、1980 年に美濃加茂市のとあるメーカーから声をかけていただき、製品の組立や検査等、製造ラインの仕事をするようになりました。1985 年、すぐ近くに

住んでいた青年がブラジルから一時帰国し、「ブラジルは今大変な状況だよ。仕事があるなら世話してよ。一度見においでよ。」と言ったことがきっかけで、ブラジルを訪問することになった。



丹波 實  
元駐ロシア大使

一企業人、一国民として努力して参りたいと誓いました。私はセメント産業に身を置く者として、復興・復旧へのようにつけ合っている。復興・復旧へのようにつけ合っている。復興・復旧へのようにつけ合っている。

## 復興に必要なセメントという資材を供給する

## 福島 秀男

太平洋セメント株式会社  
取締役 専務執行役員

置く者として、復興・復旧へのようにつけ合っている。復興・復旧へのようにつけ合っている。復興・復旧へのようにつけ合っている。

生かされて、工場の従事者全員が万全の避難行動をとり、人的被害が無かったことは何よりの幸でした。被災後間もなく従業員は衣食住の不足など困難を抱えた状況にありましたが、早期操業開始に向け復旧

作業に取り組みました。操業再開までには 8 ヶ月の時間を要しましたが、この間セメント生産設備による災害廃棄物焼却処理に取り組む、現在も継続中です。このガレキ処理は平成 26 年 3 月末までに約 90 万トンを実施する計画で進めて参ります。

セメント生産設備は高温の炉を主要設備としており、種々の廃棄物を原料・燃料として有効利用する資源リサイクル設備という面を持つております。復旧の第一歩であるガレキ処理

（資源化）を行いながら復興に必要なセメントという資材を供給するという生産工場の強みを十分に生かして貢献して参りたいと考えております。また、今回の震災・津波災害を契機にセメント・コンクリートを使用した土木建築のあり方がより一層「安全・安心」に焦点を合わせた形で見直されるものと想います。これらのニーズに応えるべく各種製品、技術、サービスの提供も私どもの産業の重要な役割と認識しております。

さらに終息が待たれる原発事故に関連してこれまで培ってきた放射能関連の製品（低放射化コンクリート、放射線遮蔽コンクリート、放射性廃棄物容器）や土壌等の放射能除染技術などを活用して環境回復に貢献できたらと考えております。

未だかつてないこの様な困難を乗り越え「不死鳥」の如く蘇える日本の姿を描くには是非とも政治の強い指導力で国民の心のベクトルを合わせることを期待しております。



林 隆春  
株式会社アバンセコーポレーション  
株式会社エレメント 代表取締役

的ではあるが自由化されることになりました。バブル崩壊以降、コストダウンと人件費の変動費化要請が強まり、業界は一気に成長することになりました。そして 2000 年の IT バブル崩壊、そして今回のリーマンショックを契機にした 100 年に一度の大不況です。もともとメーカーが人件費を変動費化する調整ではありましたが、グローバルスタンダード経済の中で少し勇み足、第二人事務的な動きが大きく表面化し、コンプライアンスまで外部化でカットする企業が出現、人材派遣は貧困ビジネス化していききました。

現在私は、50% は人材ビジネス、あとの 50% は福祉ビジネスとボランティアを組むことになりました。1986 年に労働者派遣法ができ、コストダウン目的の外部労働者の調達が合法化され、人手不足が頂点に達したバブルの最後、1990 年に入管法が改正海外からの人材調達も限定

しています。27 年間関わってきた外国人労働者 6 万人余りのコミュニティを活用した海外進出支援をブラジル、中国、フィリピン、タイで行い、ビザ申請ノウハウを生かし、高度技術者の受入れ、24 時間国の通訳・翻訳業務、そして、協同組合を通じた実習・研修の受入れを行っています。もう一つ、障害者、ホームレス等社会的弱者と言われる人達と高齢者。この二つのコミュニティの人達に、幸せ感を持って人生を全うしていただく事業として、有料老人ホームやグループホームを 10 棟余り、炊き出し、シェルター、相談所、日本語教室等と、仕事人生の最後をゆったりと楽しんで彼らと過ごしています。

## 営業種目

鋼材全般の加工・販売  
不動産取引の仲介及びコンサルティング  
中国製希少金属や化学品等の販売  
新たな事業として、環境 ECO 関連製品の販売を展開



## 福島鋼業株式会社

本社事務所 〒130-0004 東京都墨田区本所四丁目 12 番 3 号 福島憲仁ビル  
TEL:03-3539-3111 FAX:03-3597-0505  
新橋事務所 東京都港区新橋二丁目 12 番 1 号 ランディック第 3 新橋ビル  
TEL:03-3539-3111 FAX:03-3597-0505



河野 順吉

元全国市長会副会長  
前北海道深川市長  
北海道青年会館会長

て毎日を通していま  
す。たくさんの方々の  
出会いや再会が喜びであ  
り、その感激は子孫の代  
までつながり、ふれあい  
となり、心を豊かにして  
くれます。

私は立場上、選挙とい  
う市民の審判を受けなけ  
ればなりません。私の  
力の力はわずかで、  
すべてがご支援をしてく  
ださる皆さんのお力と  
妻をはじめ子どもたち家

族のおかげと感謝してい  
ます。  
この中から特に「人と  
の出会いを大切に」につ  
いて書かせていただきま  
す。

た。  
そのような中で、乳飲  
み子を抱えたある女性  
が、「重湯にして子ども  
に飲ませたいので、白米  
を五合分けてください」  
と、私の母に頼んでしま  
した。母は、なんのため  
らいもなくわが家の分を  
差し上げました。

「親の因果が子に報う」  
ということわざがありま  
すが、まさに母の力、偉  
大さが伝わってくる出来  
事でした。

また、両親の理解によ  
り、早くから青年運動で  
活動させてもらい、全  
国各地にはお互い切磋琢  
磨してきた皆さんの仲  
間との出会いがありまし  
た。このことで今日の私  
があると思っています。

父母の恩は山よりも高  
く、愛情は海よりも深く、  
両親と家族に感謝してい  
ます。  
どうぞ新春の所感とさ  
せていただきます。人の  
出会いの大切さを申し上  
げ、皆様の益々のご活躍  
を念じて新春の挨拶とい  
たします。

## 出会いの大切さ 貴重な体験から大切なことを学ぶ

新春を迎え、心よりお  
慶び申し上げます。  
本年の幸せをご祈念い  
たします。

人それぞれにライフス  
タイルがあります。私は、  
今日までの貴重な体験か  
ら、次のような人生に大  
切なことを学び取ること  
ができました。

今は亡き濱田守久様と  
の出会いをいただき、寅  
年会に入会し、人の出会  
いの大切さを有難く感ず  
る毎日です。

一、体を鍛える。  
二、人との出会いを大切に  
三、集団を鏡として参加する。  
四、人生一歩から、ステップ・バイ・ステップ。  
五、笑顔と感謝の日々。  
六、人生は汗と愛  
七、ふるさとを忘れずに

昨年ほど、新聞発行の  
意義を確認したことはあ  
りませんでした。3月  
11日の東日本大震災を  
受け、急ぎよ取材班を順  
次送り込みました。札幌  
から取材車で出発した班  
は、函館からフェリーで  
青森に渡り、瓦礫を掻き  
分けながら岩手、宮城へ。  
東京支社からの班は福島  
の原発事故を担当。三陸  
地方出身の記者もあり、

現地に飛んで家族を探し  
出し、その体験を原稿で  
送ってきました。  
津波で家族を失った悲  
嘆、あきらめず生き抜く  
決意。そうした被災者の  
心情が記事になると、道  
民から驚くほど大きな反  
響がありました。ポラン  
ティアが続々現地入り  
したほか、義援金はもと  
より漁船、図書まで、今  
もさまざまな形で援助の

手が差し伸べられていま  
す。昨年10月には仙台に  
東北臨時支局を開設し、  
引き続き取材に当たりま  
す。  
今回の大震災で、道民  
の間に「東北は南の隣人」  
という共生の思いが強く  
芽生えています。昨年8  
月、北海道新聞グループ、  
北海道新聞社会福祉振興  
基金が道内の企業、団体  
に呼びかけ、仙台、福島

の児童、教師など230  
人余りを札幌に招待しま  
した。「避難所の生活が  
不便」「放射能を避ける  
ため半そでが着られな  
い」という子供たちが3  
日間、羽を伸ばしてプロ  
野球や劇団四季の舞台を  
楽しんでくれました。こ  
のプロジェクトは今年も  
続けます。

2015年、新幹線が  
青森から函館まで延伸さ  
れ、北海道から九州まで  
新幹線で結ばれます。こ  
れで東北が産業でも文化  
でもぐんと近くなりま  
す。昨年末、函館―札幌  
間が着工されることも決  
まりました。北海道の地  
元紙としては、より大き  
な視点で東北・北海道の  
発展に貢献したいと考え  
ているところです。



原田 伸一

北海道新聞社  
常務取締役

謹んで年頭のご挨拶を  
申し上げます。10年ほど  
前、故濱田守久大阪経済  
倶楽部会長が札幌にお越  
しの際、昭和25年生まれ  
の私に声を掛けていただ  
いたことから、寅年会と  
のご縁が出来ました。

北海道新聞（本社・札  
幌）は今年、創刊70周年  
を迎えます。昭和17年11  
月1日、時の政府の「1  
県1紙」の方針により、

北海道新聞（本社・札  
幌）は今年、創刊70周年  
を迎えます。昭和17年11  
月1日、時の政府の「1  
県1紙」の方針により、

北海道新聞（本社・札  
幌）は今年、創刊70周年  
を迎えます。昭和17年11  
月1日、時の政府の「1  
県1紙」の方針により、

北海道新聞（本社・札  
幌）は今年、創刊70周年  
を迎えます。昭和17年11  
月1日、時の政府の「1  
県1紙」の方針により、

北海道新聞（本社・札  
幌）は今年、創刊70周年  
を迎えます。昭和17年11  
月1日、時の政府の「1  
県1紙」の方針により、

北海道新聞（本社・札  
幌）は今年、創刊70周年  
を迎えます。昭和17年11  
月1日、時の政府の「1  
県1紙」の方針により、

## 北海道の地元紙として、大きな視点で 東北・北海道の発展に貢献したい

北海道新聞（本社・札  
幌）は今年、創刊70周年  
を迎えます。昭和17年11  
月1日、時の政府の「1  
県1紙」の方針により、

北海道新聞（本社・札  
幌）は今年、創刊70周年  
を迎えます。昭和17年11  
月1日、時の政府の「1  
県1紙」の方針により、

北海道新聞（本社・札  
幌）は今年、創刊70周年  
を迎えます。昭和17年11  
月1日、時の政府の「1  
県1紙」の方針により、

北海道新聞（本社・札  
幌）は今年、創刊70周年  
を迎えます。昭和17年11  
月1日、時の政府の「1  
県1紙」の方針により、

北海道新聞（本社・札  
幌）は今年、創刊70周年  
を迎えます。昭和17年11  
月1日、時の政府の「1  
県1紙」の方針により、

北海道新聞（本社・札  
幌）は今年、創刊70周年  
を迎えます。昭和17年11  
月1日、時の政府の「1  
県1紙」の方針により、

北海道新聞（本社・札  
幌）は今年、創刊70周年  
を迎えます。昭和17年11  
月1日、時の政府の「1  
県1紙」の方針により、

### 建設コンサルタント TK 株式会社東京企画

現在 東日本大震災からの復旧のための人材確保など、あらゆる面で全力を挙げて取り組んでいます

< 福島営業所 > 仙台事務所 宮城県仙台市太白区泉崎 1-32-20-201 Tel.022(307)5505 Fax.022(307)5506

代表取締役 安田一尊

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-8 大輝ビル 401 Tel.03(5292)2451 Fax.03(5292)2260



後藤 敏彦

地球システム・倫理学会常任理事  
サステイナビリティ日本フォーラム代表理事

## 国土保全（保全隊）公団創設の提言

日本人の平均的健康年齢75歳までの  
雇用の場を創出することが必須

本稿は、かねてより筆者が提案していることを同じく常任理事を勤められている村田光平大使に話したところ寅年会に書

いてほしいとの依頼をうけ執筆したものです。  
東日本大震災は日本社会を大きく揺るがしています。環境経営学会は、

1にありますので本稿の参考文献として是非参考にしていただきたい。  
<http://www.smf.gr.jp/data/pdf/ungproposai.pdf>

提言したものがベースになっていきます（ISSN 1345-6589）第32回環境シ

ラム案」の中で  
提言したものがベースになっていきます（ISSN 1345-6589）第32回環境シ

東日本大震災で仮設住宅に避難している方々の多くが失業中で、このま

SP CARBONIZER  
炭素資源の活用、炭素循環の推進。

## 虎は大河を渡る

タイガー

寅年会の皆様あけましておめでとうございます。昔

昭和天皇陛下がご来園になられた時、檻の奥の校舎を

描いたと思われる。しかしこの迫力、描写力、想像力は卓越しており、

に連れられて京都鞍馬寺にお参りにきました。当時の記憶はあまり定か

の6年間、個展や日本画指導のためにインドのニューデリーに暮らし

なかなか見られませんが、朝夕に水飲み場に現れる時がチャンスです。夏の暑い日でしたが、突然現れたかと思うといきなり、河にザブーンと飛び込み、それからや

東京芸大日本画の画学生の頃、動物を描く制作課題が良く出されました。好きな動物を100号程の大きさで仕上げるというものです。芸大校舎は上野動物園の隣なので、朝夕動物たちの雄叫

びが聞こえてきます。昔昭和天皇陛下がご来園になられた時、檻の奥の校舎を

描いたと思われる。しかしこの迫力、描写力、想像力は卓越しており、

に連れられて京都鞍馬寺にお参りにきました。当時の記憶はあまり定か

の6年間、個展や日本画指導のためにインドのニューデリーに暮らし

なかなか見られませんが、朝夕に水飲み場に現れる時がチャンスです。夏の暑い日でしたが、突然現れたかと思うといきなり、河にザブーンと飛び込み、それからや



山田 真巳

日本画家

の目も猫の目になってい

話が変わりますが、小生が4歳の誕生日に母親

1990年代後半から2000年代前半にかけ

の6年間、個展や日本画指導のためにインドのニューデリーに暮らし

なかなか見られませんが、朝夕に水飲み場に現れる時がチャンスです。夏の暑い日でしたが、突然現れたかと思うといきなり、河にザブーンと飛び込み、それからや

企業理念  
Corporate philosophy

中小企業への投資・育成を通じて社会に貢献します。  
透明性のある健全な経営と地域産業へのバックアップで、社会的な信頼に応えます。  
環境問題に対して高い理想のもとに、挑戦する意欲と俊敏な行動力で、地元企業とともにその改善に努めます。

業務内容  
Work contents

- ・環境関連システムの企画や製造、販売
- ・有機物を原料とする炭素及びその他の生成物の用途開発に関する研究や製造、販売
- ・二酸化炭素排出権の創出、販売
- ・環境問題のコンサルタント業
- ・都市開発の総合企画
- ・総合リース

日本公共投資機構 株式会社

<本社> 〒135-0061 東京都江東区豊洲5丁目5番1号 電話 03-5408-3205 FAX0120-234-011  
<東京営業所> 〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-17-604

常森 治（ヨコハマダイヤ中部販売(株) 取締役）  
鶴田 治樹（高砂香料工業(株) 専務取締役）  
利光 國夫（小田急電鉄(株) 会長）  
十河 金光（(株)ナイガイ 取締役）  
東條 和彦（三菱商事(株) 常務取締役）  
遠山 智（三菱自動車工業(株) 副社長）  
土手 重治（NKK(株) 社長）  
七尾 忠（千代田生命保険（相） 専務取締役）  
中岡 進（(株)イチケン 専務取締役）  
中澤 忠正（東京放送(株) 専務取締役）  
中澤 弘生（東芝セラミック(株) 取締役）  
中野 利之（(株) I N A X 専務取締役）  
中村 宏（(株)日本振興銀行 取締役）  
中村 陽一（住友不動産(株) 専務取締役）  
夏目 光春（NECシステム建設(株) 常務取締役）  
長澤 秀宣（コスモアスファルト(株) 副社長）  
南部 裕一（UR新都市センター開発(株) 社長）  
新沼 厚生（(株)アドバンテスト 取締役）  
西川 孝七（日東ベスト(株) 専務取締役）  
日光 勇吉（(株)ほくやく 常務取締役）  
野田 順弘（(株)オービック 社長）  
畑 利治（(株)カナデン 常務取締役）  
長谷部清光（名鉄引越サービス(株) 社長）  
浜中 康次（国債証券(株) 常務取締役）  
服部 辰雄（三井海上火災保険(株) 常務取締役）  
原 敏人（(株)アドバンテスト 取締役）  
半田貞治郎（(株)サイバーフォーム 社長）  
東川 昇（西松建設(株) 取締役）  
日向 正巳（一成証券(株) 副社長）  
日野 真八（五洋建設(株) 常務取締役）  
姫田 昌孝（太平工業(株) 取締役）  
平井陽一朗（オリコン(株) 取締役）  
平山 英和（安田信託銀行(株) 取締役）  
廣江 恒夫（住友海上火災保険(株) 専務取締役）  
廣田 雅良（(株)ダイヘン 専務取締役）  
廣田 新次（(株)浅沼組 常務執行役員）



杉本 和行（財務省 顧問）  
上田 邦夫（御幸ホールディングス(株) 常務取締役）  
岡安 清友（アツギ(株) 会長）  
田中 英夫（(株)静岡銀行 常務取締役）  
田中 紀之（戸田建設(株) 取締役）  
武市 章（東京ガス(株) 取締役）  
高見沢秀典（共同印刷(株) 専務取締役）  
高山 博之（(株)オーバル 取締役）  
高橋 正彌（日本精糖(株) 会長）  
高橋 篤成（(株)クレディセゾン 専務取締役）  
竹内 隆之（高砂香料工業(株) 取締役）  
竹原 有二（不動テトラ(株) 副社長）  
谷口 厚生（三菱樹脂(株) 取締役）  
谷口 孝（ナショナル証券(株) 専務取締役）  
谷野 浩二（(株)奥村組 常務取締役）  
大門 彰（NECシステム建設(株) 常務取締役）  
筒井 高志（(株)ジャスダック証券取引所 社長）  
達本 明（コスモ証券(株) 取締役）  
土田 博（那須電機商事(株) 社長）  
土屋 裕（三菱ガス化学(株) 専務取締役）  
寺田 信三（(株)ニチレイ 常務取締役）  
土佐 紀佳（東邦化学工業(株) 常務取締役）  
東郷 武（大和ハウス工業(株) 社長）  
友澤 宏（不動建設(株) 副社長）  
堂本 雄司（東洋製罐(株) 取締役）  
滑川 源夫（東鉄工業(株) 取締役）  
中尾 全宏（アサヒ飲料(株) 常務取締役）  
中神 靖雄（三菱重工業(株) 常務取締役）

中川 康彦（(株)関電工 副社長）  
中嶋 成光（福助(株) 取締役）  
中野 克彦（富山化学工業(株) 社長）  
永井 昌平（オリンパス光学工業(株) 常務取締役）  
長門 敬（小松建設工業 取締役）  
南平 哲郎（東洋エンジニアリング(株) 取締役）  
二井 重信（セントラル硝子(株) 取締役）  
西村 時雄（宇徳運輸(株) 取締役）  
西川 嘉伸（全日本空輸(株) 取締役）  
根本 紘一（東京電力(株) 取締役）  
野口 正吉（合同酒精(株) 専務取締役）  
野澤 範好（メルクス(株) 取締役）  
羽場 良和（(株)大林組 常務取締役）  
花房正次郎（(株)新井組 社長）  
早崎 健（住友海上火災保険(株) 取締役）  
林 宏（三洋証券(株) 取締役）  
原 進（日興證券(株) 副社長）  
樋口 武男（大和ハウス工業(株) 会長）  
日和崎一郎（(株)アイ・ティ・フロンティア 社長）  
姫野 有文（佐世保重工業(株) 社長）  
平沼 昌均（(株)新井組 取締役）  
平林 浩介（第日本印刷(株) 常務取締役）  
平山 百武（(株)東電通 常務取締役）  
廣岡武史朗（千代田化工建設(株) 取締役）  
廣田弘太郎（(株) ミクニ 取締役）  
福永 茂樹（クリナップ(株) 専務取締役）

塩田 孝夫（(株)フジクラ 常務取締役）  
高橋 遠（(株)東京急行電鉄(株) 取締役）  
中村 一男（アルバイン(株) 取締役）  
福地 潔（東レ(株) 取締役）  
深井 哲郎（(株)山種産業 取締役）  
藤江 恂治（(株)高岳製作所 取締役）  
筆本一三生（(株)富士通研究所 常務取締役）  
藤井 元孝（日産建設(株) 取締役）  
船橋 慶一（秋田朝日放送(株) 専務取締役）  
古川 國男（三菱樹脂(株) 取締役）  
邊見 匡文（エイベックス 取締役）  
細谷 昌平（不動建設(株) 副社長）  
星野 宏敏（東洋信託銀行(株) 常務取締役）  
本田 龍三（大阪スタヂアム興業(株) 専務取締役）  
真鍋 勉（三井不動産(株) 常務取締役）  
前田 格義（和光証券(株) 常務取締役）  
前川日出夫（シチズン時計(株) 専務取締役）  
正木 節（三菱レイヨン(株) 専務取締役）  
松岡 武三（富士通電機(株) 常務取締役）  
松田 謙一（新日本無線(株) 常務取締役）  
松下 正幸（三菱石油(株) 副社長）  
松谷 輝雄（(株)鴻池組 取締役）  
三坂 泰彦（鬼怒川ゴム工業(株) 社長）  
三輪 俱侑（(株)富士銀行 常務取締役）  
三品 二郎（野崎印刷紙業(株) 専務取締役）  
水越 浩士（(株)神戸製鋼所 社長）  
水谷 靖治（野崎産業(株) 取締役）  
宮崎 文雄（鉄建建設(株) 専務取締役）  
宮本 貞和（味の素(株) 常務取締役）  
南 俊輔（三菱レイヨン(株) 取締役）  
村谷 拓郎（国際電信電話 副社長）  
武藤 高義（カルビス(株) 社長）  
中 義（日本ハム(株) 専務取締役）  
森本 元（日立造船(株) 取締役）  
八木 基雄（住友金属工業(株) 常務取締役）  
八巻 康人（富士重工業(株) 常務取締役）  
八代 瑛（第一生命保険（相） 常務取締役）  
山口 寛治（三菱商事(株) 副社長）  
山崎 建人（三菱地所(株) 常務取締役）  
山田 建（東洋証券(株) 社長）  
山辺 正顕（旭硝子(株) 取締役）  
山下 政和（(株)オーエムシーカード 取締役）  
吉崎 蓮一（(株)熊谷組 専務取締役）  
吉田 祥昭（東京証券株 取締役）  
吉田 彪（中外製薬(株) 取締役）  
吉野平八郎（(株)マルエツ 社長）  
横山 善太（日本航空(株) 副社長）  
横畠啓太郎（住友商事(株) 副社長）  
米濱 錠治（(株)リンガーハット 会長）  
鷺塚 諫（シャープ(株) 副社長）  
和本 清博（(株)日本レップ 社長）  
脇坂 銃三（飛鳥建設(株) 取締役）  
渡辺 敬徳（東陶機器(株) 常務取締役）  
渡邊 克彌（三井海上火災保険(株) 専務取締役）



平戸 康弘（吉本興業(株) 専務取締役）  
宮武建次郎（大日本製薬(株) 社長）  
綿石 正博（南海電鉄(株) 専務取締役）  
福田 徳之（住友信託銀行(株) 常務取締役）  
藤井 明（新晃工業(株) 社長）  
藤丸 容吉（(財)都市みらい推進機構 常務理事）  
藤縄 正俊（(株)大林組 常務取締役）  
古川 治次（三菱商事(株) 副社長）  
古館 昭（(株)さくら銀行 常務取締役）  
古澤 武雄（三洋証券(株) 常務取締役）  
保志 忠彦（(株)第一興商 代表取締役）  
星崎 治男（イーバンク銀行株 副社長）  
堀口 元生（大日本塗料(株) 常務取締役）  
真橋 敏夫（大東京海上保険(株) 常務取締役）  
真鍋 長久（明治乳業(株) 常務取締役）  
前田 隆士（サンウェーブ工業(株) 常務取締役）  
前川 則夫（日本原子力発電(株) 常務取締役）  
益本 翼（全日本空輸(株) 常務取締役）  
松井 惇夫（株父小野田(株) 常務取締役）  
松田 浩二（ショーボンド建設(株) 取締役）  
松本 祐一（三菱化学(株) 常務取締役）  
三浦 勝彦（ヤマハ発動機(株) 取締役）  
三上 進（(株)よみうりランド 取締役）  
三浦 良雄（中外鉱業(株) 取締役）  
潔 森尾電機(株) 社長）  
水野 哲（ダイキン工業(株) 副社長）  
宮崎 洋（(株)スルガ銀行 取締役）

宮本 進（三井物産(株) 取締役）  
宮脇 淳光（(株)三菱銀行 取締役）  
湊 勝二（石川島播磨重工業 取締役）  
村上謙一郎（清水建設(株) 専務取締役）  
元野 雅充（石原建設(株) 取締役）  
茂木賢三郎（キッコーマン(株) 専務取締役）  
柳原 英晶（朝日住宅(株) 専務取締役）  
八木 兵司（キリンビール(株) 取締役）  
矢野 武（新東工業(株) 会長）  
山口 寛之（日本電装(株) 常務取締役）  
山崎 禎昭（石川島播磨重工業 取締役）  
山路 幸郎（(株)テクノ菱和 取締役）  
山中 克己（ザ・バック(株) 常務取締役）  
山本 宣（東洋シャッター(株) 副社長）  
吉井 猛（(株)エンプラス 常務取締役）  
吉田 圭治（住金鉱業(株) 社長）  
吉田 満（(株)銭高組 常務取締役）  
吉田 八郎（東洋信託銀行(株) 取締役）  
吉廣日出男（(株)明電舎 専務取締役）  
吉見 守翁（(株)クレディ・セゾン 取締役）  
横井 勉（日立造船(株) 常務取締役）  
米田 幸正（(株)CFSコーポレーション 社長）  
若生 寛治（(財)鉄道総合技術研究所 理事）  
脇田 正博（東洋証券(株) 社長）  
渡辺 正男（東亜建設工業(株) 会長）  
渡邊 元昭（(株)小松製作所 取締役）  
濱田 守久（大阪経済倶楽部 会長）

## 寅年会とは

この会は、四代寅年 S13・S25・S37 及び S49 年の国会議員、知事、市長、省庁課長・室長以上、都、道、府、県、市は部長以上、外郭団体理事、上場企業役員、大学は医学部教授の方々がメンバーです。

この会は、一度例会に出席されますと、永久に出席資格を得ることになります。この会を運営維持していくため、年間¥10,000 をお願いしております。

ぜひご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

〈振込先〉三井住友銀行 赤坂支店 普通 口座 8843129

口座名 大阪経済倶楽部（オオサカケイザイクラブ）

大分県知事許可（特－20）第 11113 号 住宅保証登録事業者 N-68088  
エコ大分推進事業所 E O-0409 リフォネット会員 01268



すべては喜びの声のために・・・

株式会社プライム

一級建築士事務所

ホームページ <http://www.oita-prime.jp>  
本社 〒870-0955 大分市下郡南 3 丁目 1 番 40 号  
TEL 097-569-6025 (代)  
事業所 大分県南 / 福岡 / 東京

北海道知事許可（般-8）石第 15268 号

鳶・土木・土木工事



有限会社 藤美コーポレーション

代表取締役 近藤康貴

事務所 札幌市西区八軒 5 条東 3 丁目 7-9  
TEL (011) 631-7576 番  
FAX (011) 631-7688 番

全国寅年会第 1 ～ 114 回例会御出席者名簿

(社名・役職名は御出席頂いたどおりの役職です。)

吉永 祐介(元最高検察庁 検事総長)  
緒方 重威(元広島高等検察庁 検事長)  
秋田 清夫(元名古屋地方検察庁 検事正)  
西田 博 (元日本国有鉄道清算事業団 理事)

逢沢 一郎(衆議院 議員)  
川橋 幸子(参議院 議員)  
芝 博一(参議院 議員)  
田中 慶秋(衆議院 議員)  
松崎 哲久(衆議院 議員)  
渡嘉敷奈緒美(衆議院 議員)  
石黒 秀喜(厚生労働省 大臣官房参事官)  
入澤 英尚(元日本輸出入銀行 理事)  
小川 忠男(独)都市再生機構 副理事長)  
奥田 修一(元国土交通省 営繕部長)  
菊本 宏 (元海外経済協力基金 監事)  
清島 博生(元環境衛生金公庫 監事)  
煙山 力 (東京都文京区 区长)  
小浦 英俊(元津地方検察庁 検事正)  
佐藤 次郎(財)国際学友会 理事長)  
坂本 吉弘(元通商産業省大臣官房 審議官)  
杉山 馨 (元防衛庁統合幕僚会議 議長)  
杉山 雅英(元(財)民間都市開発推進機構 常務理事)  
瀬田 公和(元環境衛生金融公庫 理事)  
田守 榮一(財)国際経済交流財団 専務理事)  
谷口 文夫(元大阪府教育委員会 教育長)  
土山 道之(元環境事業団 理事)  
長瀬 要石(海外経済協力基金 副総裁)  
中島 孝夫(元会計検査院 事務総長)  
南学 政明(元日本輸出入銀行 理事)  
則定 衛 (元東京高等検察庁 検事長)  
幡場 正宏(元防衛施設庁 調停官)  
藤本 貴也(国土地理院 院長)  
古庄 健介(元武雄市 市長)  
松崎 秀樹(千葉県浦安市 市長)  
村田 公光(元外務省 スイス大使)  
岡松 孝男(昭和大学医学部 教授)  
黒川 高秀(東京大学医学部 教授)  
高橋 隆 (京都大学医学部 教授)  
若杉 長英(大阪大学医学部 教授)



青木 繁 (三菱地所㈱ 常務取締役)  
青木 轟 (東邦亜鉛㈱ 社長)  
浅海 昭 (伊藤忠商事㈱ 取締役)  
東 武 (三和シャッター工業㈱ 常務取締役)  
芦原 章 (㈱春本鐵工 専務取締役)  
赤松 拓茂(大王製紙㈱ 常務取締役)  
安孫子正行(㈱JALUX 取締役)  
有田 陳由(古川電池㈱ 専務取締役)  
安藤 信夫(㈱ロックフィールド 常務取締役)  
井関 雅夫(N T Tテレマーケティング㈱ 社長)  
井上 修一(東レ建設㈱ 理事)  
伊藤 喜榮(大成建設㈱ 取締役)  
猪熊 研二(新日本製鐵㈱ 副社長)  
石橋 正 (㈱日立製作所 副社長)  
稲山 孝英(㈱ヤナセ 社長)  
飯島 安 (第一セメント㈱ 常務取締役)  
飯塚 繁 (日本ゼオン㈱ 常務取締役)  
池田十三雄(㈱安田電機 常務取締役)  
石井 才智(北野建設㈱ 取締役)  
石村 和清(ヤマハ㈱ 社長)  
石川 俊満(帝人㈱ 常務取締役)  
石川 靖也(日本板硝子㈱ 専務取締役)  
石原 直孝(㈱竹中土木 常務取締役)

石渡 教之(㈱テーオーシー 取締役)  
岩堀 嘉明(カンボウプラス㈱ 社長)  
岩名地哲夫(ヤマト運輸㈱ 常務取締役)  
上野 忠男(シルバー精工㈱ 取締役)  
上野 則夫(トランス・コスモス㈱ 取締役)  
上羽 譲一(横河電機㈱ 常務取締役)  
植木 俊康(日清食品㈱ 専務取締役)  
漆谷 康 (積水ハウス㈱ 常務取締役)  
後迫 政道(真柄建設㈱ 取締役)  
榎本 惠一(ジャスコ㈱ 専務取締役)  
小田 信吾(㈱ホリプロ 社長)  
小川 悦男(ヤマトロジスティクス㈱ 社長)  
大石 巖 (㈱セブンイレブンジャパン 取締役)  
大山 轟介(キュービー㈱ 社長)  
大坪 昇一(不二製油㈱ 取締役)

佐藤 道夫(衆議院 議員)  
崎親崎 定雄(元広島地方検察庁 検事生)  
辻田 耕作(元札幌地方検察庁 検事生)  
廣瀬 勝貞(元経済産業省 事務次官)  
上田 卓司(元衆議院 議員)  
木村 守男(元青森県 知事)  
関谷 勝嗣(衆議院 議員)  
徳田 虎雄(衆議院 議員)  
築瀬 進 (参議院 議員)  
伊藤 博行(住宅金融公庫 副総裁)  
石岡 征也(元建設省大臣官房 審議官)  
大澤 進 (元環境庁大気保全局 局長)  
淳 (中村市 市長)  
義雄(住宅金融公庫 理事)  
黒田 宣男(元名古屋国税局 総務部長)  
河野 久 (参議院法制局 局長)  
近藤 惠輔(元船舶整備公団 理事)  
佐野 眞一(元岐阜地方検察庁 検事生)  
坂井 順行(元運輸省港湾局 局長)  
角南 立 (元中小企業金融公庫 副総裁)  
杉原 弘泰(元大阪高等検察庁 検事長)  
染谷 昭夫(名古屋港管理組合 副管理者)  
武智 敏夫(元農畜産業振興事業団 副理事長)  
谷 公士(人事院 総裁)  
丹波 實 (外務省 外務審議官)  
永田 尚久(総合研究開発機構 理事)  
中山 禎輝(元京都府企業局 局長)  
難波 正義(元石油公団 理事)  
西尾 孝彦(日本道路公団 理事)  
林崎 千明(元防衛庁海上幕僚監部 海上幕僚長)  
土師 一郎(独)都市再生機構 理事)  
藤波 彰 (八潮市 市長)  
増田 昌彦(元公安調査庁 調査第二部長)  
宮崎 浩 (元石油公団 理事)  
横田 捷宏(中小企業金融公庫 副総裁)  
大谷 勲 (岐阜大学医学部 教授)  
高取 健彦(東京大学医学部 教授)  
高場 利博(昭和大学医学部 教授)

青山 稔 (プラス・テク㈱ 社長)  
浅川 清 (㈱タカラブネ 副社長)  
浅沼 健一(㈱浅沼組 社長)  
鯉坂 悟朗(住商リース㈱ 常務取締役)  
雨宮 治光(鬼怒川ゴム㈱ 常務取締役)  
赤星 雄一(和光証券㈱ 副社長)  
有川 寿一(スタンレー電機㈱ 常務取締役)  
安清 文一(菱電商事㈱ 専務取締役)  
荒井 元義(㈱ビー・エム・エル 社長)  
井上 雅臣(野崎産業㈱ 常務取締役)  
伊井 剛 (不二精機㈱ 取締役)  
伊藤 睦 (東芝プラント建設㈱ 取締役社長)  
出原 洋三(日本板硝子㈱ 社長)  
石丸 正幸(シロキ工業㈱ 会長)  
磯山 隆夫(東京海上火災保険㈱ 副社長)  
稲尾 勝三(古川電気工業㈱ 常務取締役)  
池田 稔 (アーバンライフ販売㈱ 専務取締役)  
石井 敏彦(安田火災海上保険㈱ 常務取締役)  
石坂 勉 (大平洋金属㈱ 常務取締役)  
石川 哲弥(大和ハウス工業㈱ 常務取締役)  
石川 利久(㈱富士通ビジネスシステム 取締役)  
石川 安一(東糧産業㈱ 常務取締役)

石原 義明(東洋信託銀行㈱ 常務取締役)  
今井 昭男(諏訪市議会 議員)  
岩浅 光彦(㈱きんでん 取締役)  
宇野 宏紀(㈱京樽 専務取締役)  
上田 裕章(㈱乃村工藝社 専務取締役)  
小原 博基(日本ベイント㈱ 副社長)  
植月 正章(㈱アシックス 専務取締役)  
植松 高豊(光洋精工㈱ 副社長)  
内田 諭洋(東ブレ㈱ 常務取締役)  
小原 順一(㈱サカタのタネ 常務取締役)  
小川 元 (セブン工業㈱ 専務取締役)  
小倉 久幸(日本サーボ㈱ 常務取締役)  
大牧 晴男(キング㈱ 取締役)  
大庭 康正(㈱日本触媒 常務取締役)  
大谷 治男(東急建設㈱ 常務取締役)  
大高 裕 (昭和シェル石油 (㈱ 常務取締役)  
大野 耀也(東レ㈱ 専務取締役)  
太田 智章(日本債券信用銀行㈱ 常務取締役)  
大野 善彦(㈱旭通信社 副社長)  
荻野 輝雄(セコム㈱ 常務取締役)  
荻野 亨 (共同印刷㈱ 取締役)  
奥村 國雄(帝人㈱ 常務取締役)  
岡本 利明(旭化成工業㈱ 常務取締役)  
岡田 勲 (東京部品工業㈱ 取締役)  
岡崎 一夫(㈱日立メディコ 取締役)  
岡部 正嗣(前田道路㈱ 社長)  
加納 勝雄(住友シチックス㈱ 専務取締役)  
兼子 勲 (日本航空㈱ 社長)  
香山 徳二(伊藤忠商事㈱ 常務取締役)  
神谷 光徳(富士工㈱ 専務取締役)  
河合 司二(大和ハウス工業㈱ 副社長)  
河口 秀樹(三井不動産販売㈱ 専務取締役)  
河野 満男(ニース科研㈱ 代表取締役)  
河村 敏男(TOA㈱ 取締役)  
川田 忠典(㈱奥村組 取締役)  
川崎 亮 (フマキラー㈱ 取締役)  
川名 折男(象印マホービン㈱ 常務取締役)  
蒲生 雄蔵(ミヨシ油脂㈱ 常務取締役)  
木本 和弘(住江織物㈱ 常務取締役)  
北川 三郎(財)日本ガス機器検査協会 専務理事)  
北村 俊男(グローリー工業㈱ 常務取締役)  
菊島 勝丸(三井物産㈱ 常務取締役)  
岸 義勝(大和団地㈱ 取締役)  
岸田 隆博(フットワーク建設㈱ 取締役)  
衣笠 美弘(㈱コバタ 常務取締役)  
久野 昇 (カゴメ㈱ 常務取締役)  
草島 次郎(三菱化工機㈱ 常務取締役)  
蔵治 義昭(日産火災海上保険㈱ 専務取締役)  
黒河 信義(ミセワセラミックミカル㈱ 取締役)  
桑原 清人(日本コムシス㈱ 専務取締役)  
向後 正隆(ユアサ・フナショク㈱ 取締役)  
小林 靖弘(㈱日本長期信用銀行 副頭取)  
小林 信正(伊藤忠商事㈱ 常務監査役)  
小杉 亨 (大成建設㈱ 取締役)  
小西 行朗(昭和アルミニウム㈱ 常務取締役)  
小松忠三郎(三井金属㈱ 専務取締役)  
香坂 信正(㈱巴コーポレーション 取締役)  
石澤 敏秀(㈱三菱銀行 取締役)  
後藤 尚志(日新製鋼㈱ 常務取締役)  
佐久間彰三(日本国土開発㈱ 専務取締役)  
佐々木 遇(日立電子㈱ 常務取締役)  
佐藤 紘一(東光電気㈱ 常務取締役)  
佐藤 信武(㈱イトーヨーカ堂 副社長)  
佐藤 功 (岩谷産業㈱ 取締役)  
相楽 敏夫(日本板硝子㈱ 専務取締役)  
斎藤 清 (勝村建設㈱ 取締役)  
櫻井 秀治(日栄運輸倉庫㈱ 社長)  
塩田 孝夫(㈱フジクラ 常務執行役員)  
芝原 茂信(田崎真珠㈱ 専務取締役)  
篠原 孝順(東洋エンジニアリング㈱ 常務取締役)  
清水 明 (カシオリース㈱ 社長)  
白木 純朗(名古屋三菱ふそう自動車販売㈱ 取締役)  
新城 英夫(都築電気㈱ 専務取締役)  
柴山 武 (東急建設㈱ 常務取締役)  
島田 勝久(㈱三菱地所設計 社長)  
末次 幸信(ダイワ精工㈱ 取締役)  
鈴木 富充(ナショナル証券㈱ 取締役)  
鈴木 喜義(㈱山種産業 取締役)  
角園 哲郎(㈱メイセイリード 社長)  
曾山 真而(太平洋海運㈱ 取締役)  
田中 信行(日産建設㈱ 常務取締役)  
田中厚一郎(㈱理経 社長)

大野 博司(国債証券㈱ 副社長)  
大嶋 進治(蝶理㈱ 専務取締役)  
大滝 哲男(セゾン生命保険㈱ 社長)  
荻野 好正(曙ブレーキ工業株 常務執行役員)  
織内 勲 (東京特殊電線㈱ 常務取締役)  
押尾 公人(㈱千葉銀行 常務取締役)  
岡本 康男(住友化学工学㈱ 取締役)  
岡田 武 (㈱コムウェルス・エンターテインメント 社長)  
岡安 清友(アツギ㈱ 社長)  
加藤 尚也(セコム㈱ 取締役)  
加藤 丈夫(富士電機㈱ 副社長)  
金田 安義(サンスター㈱ 副社長)  
柿崎 忠彦(東芝機械㈱ 取締役)  
蕪木 勇 (㈱京浜精機製作所 取締役)  
亀岡 章夫(クラウン㈱ 専務取締役)  
河路 勉夫(リコーロジスティクス㈱ 社長)  
河原 貴 (日本ゼオン㈱ 常務取締役)  
川端 俊治(山崎建設㈱ 常務取締役)  
川井 良夫(㈱グルメ杵屋 常務取締役)  
川原 正美(殖産住宅相互㈱ 取締役)  
川又 陸夫(ショールポンド建設㈱ 常務取締役)  
木元 植雄(㈱サンデーサン 常務取締役)  
北牧 昭彦(シャープ㈱ 取締役)  
北田 普俊(三井造船㈱ 取締役)  
菊地 忠雄(三櫻工業㈱ 取締役)  
岸 正平 (前田道路㈱ 取締役)  
岸本堅太郎(神鋼海運㈱ 社長)  
桐本 昌典(㈱巴コーポレーション 専務取締役)  
久保田郁夫(日本梱包運輸倉庫㈱ 常務取締役)  
熊崎 洋 (東芝機械㈱ 常務取締役)  
栗林 浩 (日揮㈱ 常務取締役)  
黒川 静 (トッパン・フォームズ㈱ 常務取締役)  
桑原 章次(㈱大林組 専務取締役)  
源代 价克(N E Cシステム建設㈱ 常務取締役)  
児玉 三郎(㈱小島鉄工所 社長)  
小勝 康弘(㈱アイネス 常務取締役)  
小林 恒夫(安田生命保険 (相) 常務取締役)  
小久保英雄(㈱リード 常務取締役)  
小島 暎孝(住友電装㈱ 常務取締役)  
小牧 龍夫(エーザイ㈱ 取締役)  
琴田 泰之(東邦アセチレン㈱ 常務取締役)  
駒井 健二(住商リース㈱ 取締役)  
佐野 吉秀(㈱旭通信社 副社長)  
佐々木俊二(オリックス㈱ 常務取締役)  
佐々木基進(コスモ石油㈱ 常務取締役)  
佐々木三郎(シルバー精工㈱ 常務取締役)  
佐藤 達也(アンリツ㈱ 取締役)  
佐藤 靖範(川崎汽船㈱ 常務取締役)  
坂巻持千男(東亜道路工業㈱ 常務取締役)  
斎藤 正道(東邦チタニウム㈱ 常務取締役)  
坂井 偉雄(扶桑レクセル㈱ 取締役)  
志賀 正毅(東急建設㈱ 取締役)  
篠田 哲志(東洋証券㈱ 社長)  
重田 里志(㈱リクルートコスモス 社長)  
清水 信 (日本電子計算機 常任監査役)  
渋江 克彦(東京海上火災保険㈱ 常務取締役)  
柴田 直登(㈱リコー 専務取締役)  
東海林 徹(㈱コルク 社長)  
浄弘美津子(上新電機㈱ 社長)  
末兼 正純(㈱大林組 取締役)  
鈴木 喜義(㈱山種産業 取締役)  
鈴木 康夫(東洋信託銀行㈱ 取締役)  
薄田 元司(㈱名村造船所 取締役)  
田中 重穂(三菱重工㈱ 取締役)  
田谷 光男(㈱テクノ菱和 専務取締役)  
田辺 信 (日本信販㈱ 専務取締役)  
田中 久勝(コスモアスファルト㈱ 社長)  
田端 剛爾(新日本造機㈱ 社長)  
田村 滋美(東京電力㈱ 会長)  
田部井正巳(第一生命保険㈱ 専務取締役)  
高木 勝彦(富士重工㈱ 常務取締役)  
高梨 嘉明(安田信託銀行㈱ 取締役)  
高橋 修 (三井物産㈱ 取締役)  
竹内 征司(㈱熊谷組 常務取締役)  
竹下 吉弘(東洋信託銀行㈱ 副社長)  
谷口 正次(太平洋セメント㈱ 専務取締役)  
谷山 秀夫(雪印乳業㈱ 専務取締役)  
玉盛 照人(㈱カスミ 取締役)  
玉井 充 (キャノン販売㈱ 取締役)  
辻本 均 (住友建設㈱ 社長)  
土田 幹夫(東京精密㈱ 取締役)  
土田 茂 (わかもと製業㈱ 常務取締役)

上下水道施設工事

一般土木工事

群馬第 21087 号



イス・テー・テクノ株式会社

群馬高崎市新保田中町 364-1 TEL:027-370-6260  
st-techno.jp@dan.wind.ne.jp

大分ミート有限会社

代表取締役 大塚 謙

大分県大分市西新地 2 丁目 1 番の 25  
TEL(097)552-0298  
FAX(097)556-3141





三ツ矢 憲生  
衆議院議員

## 新年を迎えるにあたって

寅年会のみなさま、新年あけましておめでとうございます。私は、昭和 25 年 12 月生まれで、先月 61 歳になったばかりです。この度、筆をとらせていただく機会に恵まれたことをありがたく思うとともに光榮に存じます。

はじめに、昨年の東日本大震災や台風 12 号等の大

たれ、生活保護に頼らざるを得なくなっています。台風 12 号は、大災害に襲われたら、紀伊半島南部は、陸の孤島となる危険が、大きいことを再認識させました。全国的にも、地

震や台風によって、道路、

港湾、鉄道が使えなくなる地域が多くあります。東日本大震災の復興に東北高速道路が、大きな役割を果たしている状況に鑑みると、「命の道」というべき高速道路の建設促進が重要であると思います。日本では、高速道路計画は 1 万 4 千キ

3 月 11 日東日本大震災発災直後、国土交通省東北地方整備局では直ちにヘリコプターを離陸させ状況調査を行いました。沿岸部は津波に襲われ大惨事になって



藤本 貴也  
(社)建設コンサルタンツ協会 会長 副会長

## この国のかたちと危機管理

みなさん、明けましてお目出度うございます。昨年は災害続きの年でしたが、今年こそは良い年になることを祈っています。

さていつの頃からか、「国から地方へ」という一方向な流れが主流となり、国と地方がそれぞれの役割を分担し、連携しながら最適な方向に進んでいくベスト・ミックスの発想は置き去りにされてきた感があります（ちなみに「官から民へ」、「コンクリートから人へ」も同様です）。平時にはその間の

線引きが多少いびつになっても、時間をかけて修復することによりその弊害はある程度修復することは可能です。しかしながら特に巨大災害など深刻な危機管理に直面した際の初動対応においては、地域間の利害調整に時間をかける余裕もないことから、全体像が充分把握できない中で即断即決、重要な判断を行い、短期間に人員や資機材を全国から機動的に集中投下する必要があることから国の役割には大きいものがあります。

いることを把握するや、被災地域への人命救助、支援物資輸送のため直ちに「くしの歯作戦」を立案しました。即ち、内陸部を南北に結ぶ東北自動車道、国道 4 号とこれを起点に三陸海岸へ連結する横断方向の 15 本の国道の復旧に全勢力を投入し、緊急用車両について

は翌日 12 日には 11 路線、14 日には 14 路線で通行が可能となり、16 日からは 15 路線について一般車両も通行可能となりました。これにより、青森から茨城に至る被

の神宮では、来年はいよいよ第 62 回式年遷宮を迎えます。今年は、正殿の御柱を立てる立柱祭・正殿に棟木を揚げる上棟祭など新御敷地での造営にかかわる祭儀が斎行されます。地元選出の国会議員として、これまでの全国の皆様からのご支援ご協力に感謝申し上げますとともに、御遷宮の成功を祈念せずにはられません。

最後になりますが、被災地の復旧復興に向けて最大限努力することをお誓い申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

国の出先機関の地方移管について議論されている「アクションプラン」推進委員事（当時）や片山総務大臣（当時）は「平時は地方がオペレーション（指揮命令）をやって、緊急事態の時はどういう直轄の組織を作るのかを国家戦略として制度を作れば良い」（橋本氏）との趣旨の発言をされていますが、国が平時において現場を持たなくしてしまっ

ておいて、非常時に手に負えなくなってから国に指揮権を移そうとしても、直ちに効果的に対応ができるとは思えません。

もう一度原点に戻り、危機管理における対応も重要な判断要素に位置付けた上で、国と地方の役割分担について改めて見直す必要があるのではないのでしょうか。

## 事務局便り

あけましておめでとうございます。一昨年、大阪経済倶楽部 濱田守久会長が他界され、昨年 1 年間この寅年会の会報もお休みをいただきました。いつも楽しみにしてくださっていた寅年の皆様には、大変ご心配、ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。おかげさまで、もちまして大阪経済倶楽部は 26 年目を、寅年全国 S13・25・37・49 年官庁団体役員・上場企業役員会は 22 年目を迎えることができました。ひとえに会を支えてくださった皆様のご協力、お力添えあつてのことであると感謝いたしております。

2011 年は、日本が大きな 2 つの転換点を迎える年となりました。1 つ目の転換点は、エネルギー供給に関する基本的な政策の転換点であります。3 月 11 日に東北を襲った東日本大震災は多くの被災者を生み出し、さらに現在の日本の基幹エネルギーである原子力政策そのものを直撃しました。今後のエネルギー政策に多大な影響を及ぼすであろうことは間違いありません。そして 2 つ目の転換点は、外貨準備の通貨比率の変更であります。あまり注目されていませんが年末の野田総理の訪中の際、日本と中国の貿易決済における中国元の決済通貨としての使用及び中国国債の買入れに関する話し合いがあったそうです。野田総理が意識的な舵取りをされたのかは不明ですが、意味するところは非常に重大なことではなからうかと考えています。ヨーロッパに対する信用不安もあり今後、日本のアジアにおける経済活動、為替政策に大きな影響を及ぼすこととなるでしょう。いづれも日本にとって根幹に関わる大きな問題であり対応を誤れない問題であります。是非とも寅年の皆様にもう一踏ん張りしていただき日本を牽引してくださいようお願いいたします。

今年より大阪経済倶楽部では、皆様によりお役に立てるよう

に会として新興国との交流を深める会合を開催いたします。国際化社会の中で欧米諸国だけでなく新興国との人的交流を試みることにしました。

現在すでに中国大使館、インド大使館、ロシア大使館とレセプションを執り行う準備を始めております。

各国大使館において各国大使、公使にもご臨席いただき日本の経済人との交流をしていただくことの趣旨です。

詳細が決定いたしました時点でお知らせさせていただきますので奮ってご参加下さい。

（事務局 N）

## 大阪経済倶楽部

所在地 〒107-0052 東京都港区赤坂 3-11-8-501 TEL:03-3584-6996 / FAX:03-3586-4114

相談役 杉原 弘泰

相談役 親崎 定雄

相談役 秋田 清夫

相談役 遠藤 直哉

相談役 村田 光平

相談役 瀬田 公和

相談役 廣瀬 安秀

相談役 横田 誠

相談役 斎藤 信浩

相談役 林 隆春

相談役 中山 茂

相談役 田島 茂喜

相談役 反町 隆雄

相談役 エス・デー・テクノ株式会社 社長

常任理事 川上ゴルフ倶楽部 株式会社甲武信 社長

常任理事 小林 徹平

常任理事 中林 泰